

# 審判規定「少年大会申し合わせ事項」周知手順

## 及び運用上の確認等について

2010.4.16～17

日本中体連柔道競技部

ブロック長会議

- (1) 平成22年5月1日改正の国際柔道連盟試合審判規定・「少年大会申し合わせ」は、平成22年度第41回全国中学校柔道大会で適用される。  
「少年大会申し合わせ事項」とは平成22年3月18日に(財)全日本柔道連盟理事会で決定されたものであり、全柔連のホームページ等で確認することができる。  
全柔連HP→トピックス→10/03/18→その他→国際規定・少年大会…
- (2) 全中大会につながるブロック大会・都道府県大会・地区大会等においても、改正された規定が適用される。  
ただし、地区大会および都道府県大会の実情において、試合時間及びゴールデンスコアの適用については、都道府県中体連柔道部が別に定めることができる。
- (3) 改正規定が適正に適用されるために、都道府県中体連柔道部は、審判員・顧問・選手に改正された内容を周知するための講習会等を実施しなければならない。
- (4) 試合場で使用される畳の色は、従前の赤・緑色の畳で差し支えない。
- (5) 試合で使用される柔道衣は白色のみで、女子の黒帯は白線入りとする。
- (6) 試合時間は、団体・個人とも3分間とする。団体代表戦及び個人戦のゴールデンスコアは1分30秒間とする。
- (7) 「少年大会申し合わせ事項」は、講道館柔道試合審判規定・少年規定を踏襲されているが、両膝をついた背負投などの禁止事項は「注意」から「指導」となっていること等に留意する。
- (8) 抑え込みの秒数は、「一本」→25秒、「技あり」→20秒、「有効」→15秒となる。
- (9) できるだけ片方に、かつ適切に、早めに罰則が適用されることが望ましい。
- (10) 場内外の判断は、適切に見極めなければならない。
- (11) 正規ではない試合場の場合、場外の安全を確保するよう努める。
- (12) 団体戦の並び方は、上席側から軽い体重順に整列する。
- (13) 団体戦の代表戦は、3分間とし、勝敗が決しない場合は1分30秒間のゴールデンスコアを行う。代表戦に出場する選手はチームで選出する。
- (14) 計量・柔道衣コントロールは従前通りの方法で実施する。

以下の参考資料を、審判員・顧問・選手の全てに周知してください。

### 【参考資料】

- ① 国際柔道連盟試合審判規定「少年大会申し合わせ事項」
- ② 国際柔道連盟試合審判規定…全柔連審判委員会／2004.3
- ③ 新IJF試合審判規定（期間：2010年1月1日から2012年12月31日まで）
- ④ 国際柔道連盟試合審判規定（2009年7月現在）
- ⑤ 特殊な勝敗における、その後の試合への出場について
- ⑥ IJFルールの特例の解釈（2008・2・1）